



K O I K E Y A

環境・CSR報告書 2022



K O I K E Y A



# 湖池屋 60周年の歴史



食でくらしをゆたかに。

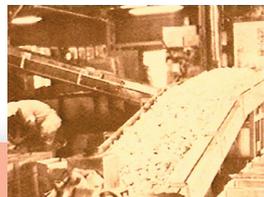
1962年

のり塩誕生



1967年

量産化に成功



ロングセラーブランド誕生



森林保全活動の推進



新生湖池屋の誕生



湖池屋SDGs劇場「サスとテナ」開幕



紙を使ったパッケージ



湖池屋初の九州の生産拠点開業



防災スナックの開発



ブランド芋の魅力を活かした商品開発



商品を通じた地域貢献



イケイケGOGO! 未来へGOGO!  
おいしく、たのしく、湖池屋SDGs!



湖池屋は「食でくらしをゆたかに。」をテーマに、持続可能な社会を目指し、食を通じたSDGs活動を推進していきます。

代表取締役会長  
小池 孝



代表取締役社長  
佐藤 章



K O I K E Y A

## 湖池屋の環境理念

私たち湖池屋は、独創的で心の満足度の高い商品、サービスを提供するとともに、地球環境、人々の健康、豊かな社会づくりに貢献します。

## 湖池屋の環境行動指針

1. 環境関連法規及びその他の要求事項を遵守するとともに、自主基準を設定し、事業活動に取り組みます。
2. 事業活動による廃棄物の削減及び再資源化、省資源、省エネルギーを推進するとともに、地球環境に負荷を与える物質の削減に取り組みます。
3. 環境に配慮した原料・資材調達、商品開発、生産に努めます。
4. 環境保全のための社会貢献活動に取り組みます。
5. 環境教育を通じ、環境保全に対する意識向上を図るとともに、全社員が環境意識を持って行動します。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 持続可能な開発目標 (SDGs)



湖池屋は、国連が2030年までに達成をめざす「持続可能な開発目標 (SDGs)」に賛同し、『食』を通じてSDGsの達成に積極的に貢献します。

湖池屋では、「食でくらしをゆたかに。」という創業者の想いを引き継ぎ、自社製品を通じてSDGs活動を推進することを目標としています。これからも、ずっと先の世代まで様々な人々に美味しさとお届けできるよう、豊かな社会作りに貢献していきます。

### 環境・CSR報告書について

【対象期間】年間実績データは、2021年度(2021年4月~2022年3月)について報告しており、一部対象期間外も含まれております。  
【対象範囲】本報告書の対象組織は湖池屋の国内事業となります。湖池屋の海外事業、外部協力工場は除いております。※本報告書に記載したデータはお断りなく変更する可能性もありますのでご了承ください。

# 湖池屋初の九州の生産拠点「九州阿蘇工場」稼働

2021年8月に、湖池屋にとって九州初の生産拠点となる「九州阿蘇工場」が開業しました。



## 熊本県の地域復興

九州阿蘇工場の所在地である益城町は、熊本地震で被害のあった地域になりますが、新工場を稼働することにより雇用を生み出し、そこで商品を生産していくことで、地域の復興・活性化につなげていきたいと考えています。地域の方々を巻き込みながら、自然災害への対策、地域の素材を活かした新商品開発、原料の開発等にも取り組み、熊本県をはじめ九州の皆様を笑顔にする様々な取り組みを展開していきます。

## 九州産原料へのこだわり

日本国内において、九州は北海道に次ぐじゃがいもの生産地です。中でも、九州阿蘇工場のある熊本県は、九州屈指のじゃがいもの生産地で、九州阿蘇工場の開業を機にじゃがいもの生産拡大を図るための取り組みを進めています。熊本県産を含む九州産原料を使用することで商品の安定供給につなげると共に、地域振興への貢献を目指します。また、熊本県×湖池屋の共同開発で海外のプレミアム品種のじゃがいもを栽培・育成し、熊本県の土壌・水・気候により育まれる熊本県ならではのじゃがいもを開発したいと考えています。



「九州カラムーチョ 甘辛チリトマト味」と「九州すっぱムーチョ 九州柑橘&ピネガー」

## 湖池屋 GOGO!ファクトリー

九州阿蘇工場の稼働にあわせ、熊本県をはじめ、全国の皆様に笑顔をお届けする取り組みの一つとして、湖池屋の歴史と創業以来のこだわりを体感いただきながら、オリジナルポテトチップス作りを体験することができる「湖池屋GOGO!ファクトリー」を併設しました。こちらの施設では、フラット、厚切りフラット、ケトル等の異なるカット形状のポテトチップス生地をご用意。地元・熊本県ならではの素材を含めた、8種類のフレーバーを組み合わせたオリジナルの味つけを、ポテトチップス生地にあわせていただけます。お好みのデザインやメッセージを加えることができるパッケージを含めて、世界に1つだけのオリジナルポテトチップス作りをお楽しみください。

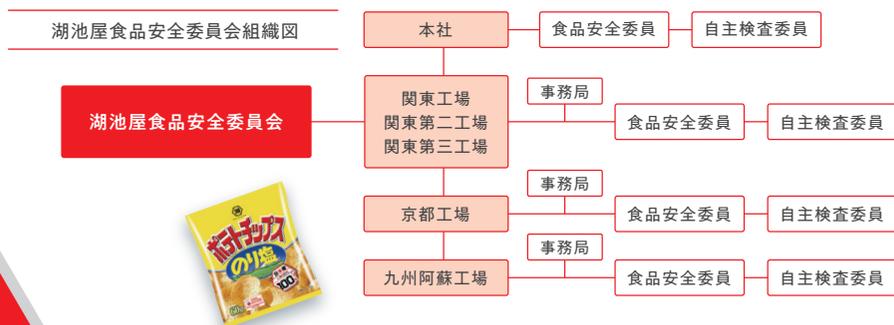


# 食の安全・安心への取り組み

湖池屋はお客様に安全・安心な商品をお届けするため、  
食品安全・品質方針に基づき、原材料の調達から製造、流通、販売に至るまでの  
全ての部門において、安全・安心な商品作りに取り組んでいます。

## 湖池屋 食品安全・品質方針

- I 【お客様志向】 お客様の立場で考え『健康』『おいしい』『楽しい』『満足度の高い』商品・サービスを提供します。
- II 【法令遵守】 法規制、食品安全に関する要求事項を遵守し、信頼していただける商品・サービスを提供します。
- III 【SDGs】 商品づくりの中で地球環境、人々の健康を意識し、社会に貢献します。
- IV 【安全・安心】 食品安全マネジメントシステムを構築し、安全で安心な商品・サービスを提供します。
- V 【コミュニケーション】 社内外のコミュニケーションを充実させ、品質の向上に努めると共に商品情報を的確に提供します。
- VI 【継続的改善】 食品安全目標を設定し取り組むと共に、マネジメントレビューを通じ継続的に改善を行います。
- VII 【教育】 従業員の食品安全に関する技術、知識、経験などの維持・向上のため、継続的な教育・訓練を行います。
- VIII 【啓蒙活動】 食品安全・品質方針を全従業員に周知し、社外にも広く発信します。



## 日本産じゃがいも100%のこだわり

湖池屋ではポテトチップスの原料として、日本産じゃがいもを100%使用しています。じゃがいもは、南は九州から北は北海道まで全国各地で栽培されておりますが、産地によって収穫時期が異なります。5月下旬より九州での収穫が始まり、8月中旬からは北海道へと至ります。収穫時期を示すラインが北上していく様子は「じゃがいも前線」と表現されることもあります。高品質のじゃがいもを安定的に確保するため、定期的に産地を訪問し、じゃがいもの生育状況や収穫状況のチェックを実施しております。また、生ものであるじゃがいもを保管するため、受入時に品質検査を実施しており、貯蔵に耐える品質の選定をすることで、安定した商品を提供し続けられるよう、努めています。湖池屋は、1962年の「湖池屋ポテトチップスのり塩」発売以来、日本のポテトチップスの老舗として、日本産じゃがいも100%にこだわり、60年以上に亘ってポテトチップスを作り続けてきました。これまで培ってきた歴史と伝統を継承しながら、日本のポテトチップスをさらに進化させるべく、湖池屋はこれからも新たな挑戦を続けていきます。

100%  
Made in Japan



※その他の品種も使用しています。

## ブランド芋の魅力を活かした商品開発



北海道JA4社によって開発されたブランド芋を使用した「じゃがいも心地ブランド芋くらべ」

日本では、各地域ごとに様々な品種のじゃがいもが生産されており、それぞれの品種が異なる個性と魅力を持っています。湖池屋では、北海道産ブランド芋のおいしさを食べくらべていただくために2019年に誕生した「じゃがいも心地ブランド芋くらべ」や、北海道今金町で作られる幻のじゃがいも“今金男しゃく”を100%使用した「ポテトチップス今金男しゃく」等、これまで培ってきた技術やノウハウを活用し、ブランド芋の魅力を活かした商品を多数展開しております。



北海道今金町で作られる“今金男しゃく”を使用した「ポテトチップス今金男しゃく」と「JAPAN プライドポテト 今金男しゃく 食塩不使用」

静岡県浜松市で生産された“三方原馬鈴薯”を使用した「三方原ポテトチップス」





## 商品を通じたSDGs活動

湖池屋は、豊かな社会の実現とその持続に貢献するため、協賛会社として運動に参加しているベルマーク教育助成運動をはじめ、様々なお菓子を通じた社会貢献活動に取り組んでいます。

### バイオマスマーク

湖池屋では、パッケージのインキの一部に植物由来の原料を配合したものを  
用いた製品があります。該当製品には、パッケージの裏に生物由来の資源  
(バイオマス)を活用し、品質及び安全性が関連する法規、基準、規格等に  
適合している環境商品の目印である、「バイオマスマーク」を表示しております。



### 紙を使ったパッケージ「The KOIKEYA」

湖池屋の原点である「おつまみ」に立ち返り、湖池屋のノウハウを一枚に詰め込んだ特別な商品として「The KOIKEYA」が誕生しました。この商品には、湖池屋初となる「紙」を使用したパッケージを採用しています。湖池屋では、これからの未来に向けた新たなポテトチップスとして、減プラスチックをはじめ環境に配慮した取り組みを実施し、未来へつながる様々なSDGs活動を展開していきたいと考えています。



### ベルマーク教育助成運動

湖池屋は、お菓子を通じて広く教育に貢献するため、教育助成運動であるベルマーク運動に賛同し、1977年から40年以上に亘り協賛会社として運動に参加しています。湖池屋商品に親しみを感じ、楽しみながらベルマークを集めていただけるよう、様々な取り組みを行っています。その内の一つとして、これまで製品パッケージ裏面下部に印刷していたベルマークの位置を、ベルマークが切り取りやすくなるようパッケージの上部に変更いたしました。



多くのお客様からのご要望を受け、ベルマークの位置を変更しました。

累計寄付金額

約**3億4,900**万円

湖池屋の商品に付いているベルマークの例



### 国連WFP協会への協力

湖池屋は「食」に携わる会社として、飢餓のない世界を目指すという国連WFP協会の理念に賛同し、2012年より継続して協力をしています。国連WFP協会が主催するチャリティーイベントへの参加や、商品を通じた寄付の実施等、様々な取り組みを行っています。

### 【レッドカップキャンペーンに参加しています】

「レッドカップキャンペーン」とは、国連WFP協会が取り組む途上国の子どもへの学校給食支援に、毎日のお買い物で参加することができるキャンペーンです。湖池屋はこの取り組みに賛同し、「湖池屋ポテトチップスのり塩5種パック」の売上の一部を国連WFP協会に寄付しています。寄付金は、国連WFP協会の「学校給食支援」に役立てられます。



湖池屋ポテトチップスのり塩5種パック



© WFP/Eulalia Berlanga



飢餓から救う。未来を救う。

WFP 国連世界食糧計画

## じゃがいも心地の森を作っています

湖池屋では、2009年12月にふらの農業協同組合との業務提携で「シレラ富良野工場」が稼動したことを機に、南富良野町の町有林において森林保全活動を実施しています。活動当初は、このエリアを「湖池屋の森」と名付けておりましたが、2021年9月からはじゃがいも的一大産地である北海道で生まれたブランド「じゃがいも心地」の名前を使用して、「じゃがいも心地の森」と改名し、環境への取り組みを強化しています。

- 【名称】じゃがいも心地の森
- 【場所】南富良野町(町有林)
- 【面積】1.82ha
- 【契約期間】平成22年8月9日～令和6年12月31日



## 防災スナックの開発

昨今の大規模災害の増加から、災害時における“食”の重要性が見直されています。日常から食べ慣れた安心感のあるポテトチップスの味わいと、日常の暮らしの中に違和感なくフィットするデザインにより、機能面だけでなく「ほっとする時間」という情緒面の価値を災害備蓄用の食の選択肢の一つとして加えたいとの想いから、湖池屋は5年保存ができるポテトチップス「KOIKEYA LONG LIFE SNACK」を開発しました。

5年  
保存



## 湖池屋 SDGs 劇場「サスとテナ」

子どもから大人まで世代を超えてSDGsに対する関心が広がる中、SDGsを複雑で難しいものとして捉えるのではなく、身近なものとして、楽しみながら取り組んでいただきたいとの想いから、SDGsをテーマにしたアニメーション湖池屋SDGs劇場「サスとテナ」を制作しました。社会課題や環境問題を反映した“SDGs怪獣”を前に奮闘する双子のクノイチ“サス”と“テナ”、そしてロボットの“ブル”が繰り広げるストーリーを楽しみながら、SDGsに対する理解を深めていただけるような内容になっています。

### 主要キャラクター



### SDGs 怪獣



## 地域の方々との取り組み

湖池屋はお客様の日々の暮らしに寄り添い、地域の方々を巻き込みながら、社会・地域に貢献できる活動を積極的に展開していきます。

### スポーツを通じたSDGsを推進

スポーツを通じた社会・地域貢献に取り組む東京羽田ヴィッキーズと、社会・地域貢献活動を広げていきたいと考えていた湖池屋との想いが重なり、2021年10月より東京羽田ヴィッキーズの活動を応援しています。



### 板橋区 × 湖池屋

板橋区に本社を構える企業の一つとして、高島平警察署や志村消防署といった行政と連携した取り組みの実施や、板橋区が実施する地域イベントへの協賛等、地域貢献活動を推進しています。



「ヒーおばあちゃん(右)」が志村消防署の一日消防署長に就任



高島平警察署と連携し、地域の防犯・交通安全キャンペーンを実施

## JAPAN PRIDE プロジェクト

「日本の誇り」である風土・文化やそれらが生み出す素材を「湖池屋プライドポテト」に込めて発信するプロジェクトとして、

2018年2月に「湖池屋 JAPAN PRIDE プロジェクト」が開始しました。

2018年5月の“宗像”に始まり、2019年6月の“小豆島”、2019年10月の“今金”、2020年8月の“神戸”、2020年9月の“金沢”、2021年8月の“熊本”と「JAPANプライドポテト」を展開し、

“地域の素材を活かしたポテトチップス”という領域を超えて、地域とともに、地域の抱えるテーマに向けて、商品を通じた貢献に取り組んでいます。



# 環境への取り組み

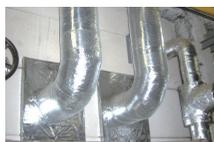
湖池屋は、環境保全を意識した企業活動に取り組んでいます。  
持続可能な自然環境の保全のため、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、  
容器包装改善など、様々な取り組みによって環境負荷の低減に努めています。

## CO<sub>2</sub> 排出量の削減(省エネ活動)

生産部門	中期目標	具体策 2017年~2021年度
関東工場 関東第二工場 関東第三工場	埼玉県目標設定型排出量取引制度に基づき、第一計画期間(平成23~26年度)において6%削減、第二計画期間(平成27~令和元年度)において13%削減、第三計画期(令和2~6年度)において20%削減を達成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボイラー・蒸気配管等、発熱設備表面の断熱強化</li> <li>照明のLED化</li> <li>スチームトラップ診断及び更新</li> <li>温廃水の熱交換利用</li> <li>ガスコージェネレーションシステムの導入による消費エネルギー削減</li> <li>省エネ型空調機更新</li> </ul>
京都工場	地球温暖化防止条例に基づき、第一計画期(平成23~25年度)、第二計画期(平成26~28年度)、第三計画期(平成29~令和元年度)、第四計画期(令和2~4年度)の其々の計画期において前計画期平均比2%の削減を達成する。	
九州阿蘇工場	令和5~7年度の平均値において、令和4年度実績比の2%削減を達成する。	

## 廃棄物の発生抑制とリサイクル

生産部門	中期目標	具体策
関東工場 関東第二工場 関東第三工場 京都工場 九州阿蘇工場	廃棄物の発生抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産ロスの削減</li> <li>返品削減</li> </ul>



配管保温の強化



蒸気配管の断熱

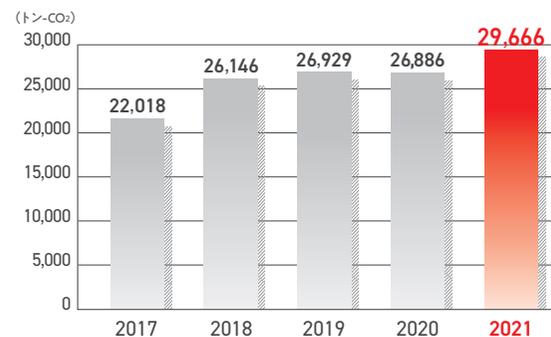


事務所廊下照明のLED化



## CO<sub>2</sub> 排出量

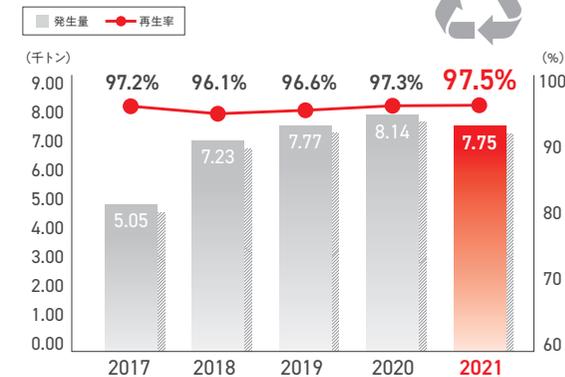
湖池屋の各工場及び事業所においては、エネルギーの効率的利用に取り組み、CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めています。ここ数年は、九州阿蘇工場の稼働開始や生産状況の変化が影響し、CO<sub>2</sub>排出量が上昇しておりますが、省エネ設備機器の段階的導入、工場各所及び事業所各所において省エネ対策を進めることで、今後も継続して可能な限りのCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んでいきます。



CO<sub>2</sub> 排出量

## 廃棄物の発生量とリサイクル

湖池屋の各工場では、どうしてもリサイクルすることのできない石などを除き、発生した食品廃棄物等のリサイクルに努めています。生産状況の変化により発生量が増加傾向にありましたが、2021年度は作年度よりも減少し、再生率も97.5%と高水準を維持しています。



廃棄物の発生量と再生率  
(関東工場、関東第二工場、関東第三工場、京都工場、九州阿蘇工場)

## 省エネ設備機器の導入によるCO<sub>2</sub>の削減

湖池屋では地球温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>排出量削減のために、灯油から都市ガス・天然ガスへ転換しました。また、各工場にガスコージェネレーションシステム(自家発電設備)を導入しました。今後も省エネルギー設備の導入を計画的に進めていきます。



液化窒素タンク



ガスコージェネレーション

## ポテトチップスができるまでとりサイクル

ポテトチップスができるまでには、いろいろな廃棄物が発生します。  
食品廃棄物や中間生成物は、可能な限り再生利用に取り組んでいます。

今年度の再生率  
**97.5%**

※再生率とは、食品循環資源の再生利用の実施量÷食品廃棄物等の発生量  
=食品循環資源の再生利用等の実施率で表されます。  
※食品リサイクル法に基づいて算出しております。



じゃがいもを選別する工程



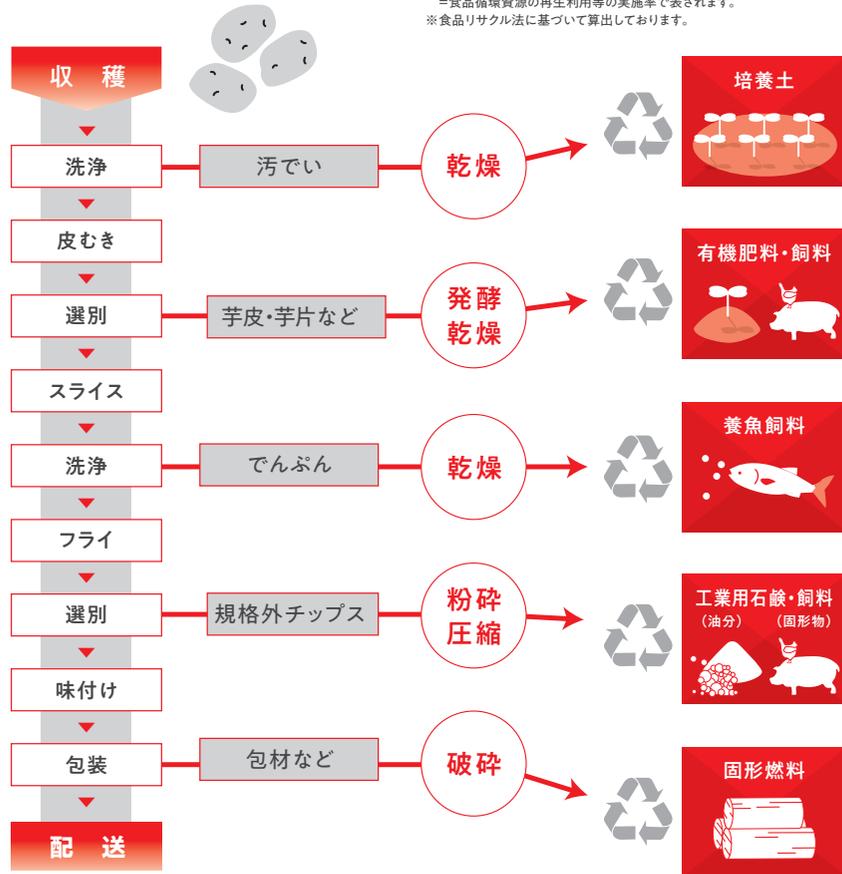
スライスしたじゃがいもの洗浄



ポテトチップスの選別



ポテトチップスの味付け



## Potatochips Recycle line

## 湖池屋マテリアルフロー（※委託先除く）

製品販売数

**5.77** 億袋



INPUT (原材料)	
容器包装材料	包装フィルム 3,455 t
	紙類 12,085 t
エネルギー使用	電気 19,681 kWh
	LPG 334 t
	LNG 2,968 t
	灯油 9 kl
	都市ガス(13A) 5,737 kWh
水の利用	水道 9,524 m <sup>3</sup>
	井水 695,431 m <sup>3</sup>

OUTPUT (廃棄物)	
食物残渣 (芋皮・屑等)	6,339 t
包装用フィルム等	333 t
[中間生成物] でんぷん	1,217 t
[CO <sub>2</sub> 排出量] CO <sub>2</sub>	29,666 t-CO <sub>2</sub>
[水系排出量] 公共下水	698,329 m <sup>3</sup>

※製品販売数…生産総重量をレギュラー袋重量(60g)で換算し、推計したものです。  
※物流・配送…物流は全体給油量から燃費量の平均値を算出して工場から配送センターまでの  
走行距離、走行回数、車種で計算しており、実測値ではありません。  
※水系排出量…汚でい量や最終製品の出来高などから推定したものです。





# 従業員との関わり

湖池屋は、独創的でユニークな商品で「おいしさ」と「楽しさ」を提供するため、  
社員の自主性を尊重し、各自の個性や能力を活かしながら、  
チームでワクワクとやりがいをもって働ける職場環境作りを目指しています。

## 湖池屋グループ人権方針

### ●人権への取り組み

- I 湖池屋グループは「食でくらしをゆたかに。」を社内スローガンのもと、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に則り、「世界人権宣言」「国連グローバル・コンパクト」、「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」を含めた国際的な人権基準を支持します。
- II 湖池屋グループは、企業の内外を問わず全ての人の人権を尊重するとともに、人種、民族、国籍、宗教、信条、出身地、性別、性的指向、性自認、年齢、障がいなどによる不当な差別及びハラスメントは行いません。
- III 湖池屋グループは、安全で健康的な労働環境の提供、結社の自由、団体交渉権、公正な報酬、児童労働・強制労働・人身取引の禁止等の人権尊重の取り組みを推進します。
- IV 湖池屋グループは、人権への負の影響が引き起こされている場合には、適用される法・規制すべてを遵守し、その防止、軽減及び救済に取り組みます。



### ●人権デューデリジェンス

湖池屋グループは、「ビジネスと人権に関する国連指導原則」に従い人権デューデリジェンスを実施することで、人権に対する負の影響を予防、是正するよう努めます。

### ●対話・協議

湖池屋グループは、人権に対する潜在的及び実際の影響に対する措置について、外部の人権に関する専門知識を活用し、関連するステークホルダーとの対話と協議を継続的に行います。

### ●教育・研修

湖池屋グループは、全ての役員・従業員に対し、教育・研修を行います。

### ●情報開示

湖池屋グループは、人権尊重の取組について、ウェブサイト等を通じて情報開示を行います。

株式会社湖池屋 代表取締役会長 小池 孝

## ダイバーシティの推進

湖池屋では、年齢・性別・能力・価値観等にとらわれず、多種多様な社員一人ひとりの個性を活かし、イノベーションを生み出す組織を構築できるよう、様々な取り組みを行っています。



### 【採用】

国内の総合職採用の他に、地域限定社員の採用や定年退職者の再雇用、海外法人における現地人材の採用など、多様な人材の登用を進めています。



### 【人材育成】

年功序列を廃し、年齢や経験を問わず誰でもチャレンジできる人事制度を導入しています。また、定期的なジョブローテーションの実施や会社全体を対象とした年間MVPの表彰、それぞれの職域に応じた研修の実施など、社員の成長や活躍を支援するための体制の構築を進めています。



### 【キャリア選択】

仕事の責任を果たす一方で、育児・介護等個人の時間も充実した健康で豊かな生活を実現するため、湖池屋ではライフイベントに応じてキャリアを選択できる制度を導入しています。



### 【安全衛生の取り組み】

労働安全衛生法の定めに従い、職場における安全と健康を確保し、快適な職場環境の構築を図っています。月1回実施されている衛生委員会や、毎年全社員が実施しているストレスチェックによって、職場の環境改善に取り組んでおります。



職位別研修	入社時	● 新入社員研修 ● 新入社員フォロー研修 ● 中途入社社員研修
	若手向け	● 思考力強化研修 ● 動機づけ研修
	管理職向け	● 人事戦略、人材マネジメント研修 ● 会計の知識研修
	全社員向け	● 自己啓発奨励制度 ● 通信教育 ● Eラーニング ● コンプライアンス研修
職種類別研修	営業部門	● 営業マネジメント研修 ● 営業力強化研修 ● 営業力提案力強化講座
	企画・開発部門	● マーケティング研修 ● メタマーケット養成ワークショップ
	生産部門	● 製造強化研修

## ワークライフバランス

湖池屋では、ワークライフバランスの調和と業務効率の向上を目的とし、社員一人ひとりの生活スタイルに応じて多様な働き方を選択できるように、2018年から働き方・業務改革プロジェクトを実施しています。

生活スタイルに合わせて多彩な働き方が選択できるように取り組んでいます。



### カジュアルデー

心地よく働ける職場づくりや、社員間のコミュニケーションの活性化を目指し、カジュアルデーを実施しています。



### フリーアドレス

本社や一部の支店でフリーアドレスを導入しました。部門間の隔たりをなくし、オフィス内の各種ニーズに合わせた空間の使い方ができるよう、開放感のある業務環境の構築を進めています。



### 副業

湖池屋では、個人のスキルアップや豊かな創造性を養うことを目的とし、社員の副業を推奨しています。



## 湖池屋の活動状況

従業員数 909名(2022年3月31日現在)

資本金 2,269百万円

連結売上高 30,395百万円(2022年3月期)

連結会計年度(2022年3月期)は決算期変更の経過期間となり、当社は9ヶ月間(2021年7月1日~2022年3月31日)、在外連結子会社は12ヶ月間(2021年4月1日~2022年3月31日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。

工場拠点 関東工場 関東第二工場 関東第三工場  
京都工場 九州阿蘇工場  
シレラ富良野(JAふらの業務委託)



## 株式会社湖池屋

〒175-0094 東京都板橋区成増五丁目9番7号  
TEL.03-3979-2115  
<https://koike-ya.com>